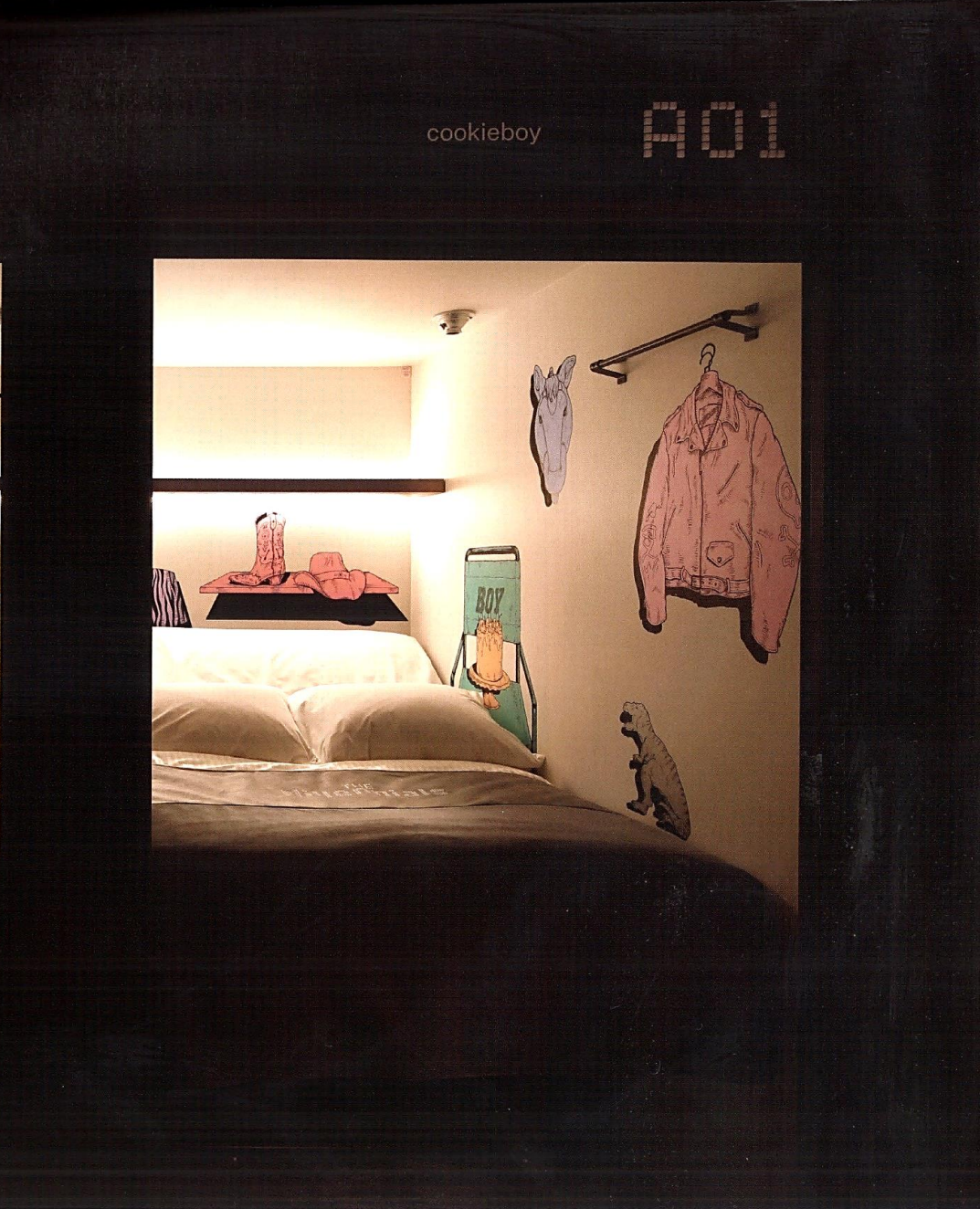


- 1.2. さまざまなアートで彩られたアートポッド。客室ナンバーの横にはクリエイター名が記載される
3. カプセルホテルにはない広さの空間で滞在を楽しむことができる
4. プロジェクター付きポッドも25室設定する
5. ポッド内に配されるアメニティー式



占める同世代のインバウンドを中心に、半年強で1万人超が滞在する人気ぶり。渋谷でも同様のにぎわい形成を目指す。

客室には、京都に引き続きカプセルホテルを応用し高い居住性・機能性・先進性を備えた自社開発の宿泊ユニット「スマートポッド」を導入した。天井高2.3m、床面積3mの宿泊ユニットで、米国シェア1位のSerta社製25cm厚ポケットコイルマットレスを採用したセミダブルサイズのリクライニングベッド、L型スーツケースも開いたまま収納可能なスライド式キャビネットを全室に完備。一部客室には80

るラグジュアリーかつ居心地よい空間を実現。そのため自然と入居者同士が集い、交流を図れるというコンセプトで、シェアハウスとは異なる価値を提供している。集客は自社ポータルサイトのみでありながら全物件の年間稼働率93%、足元2月末時点の空室在庫はゼロ、など同世代の高い支持を獲得している。

なおホテル業界においては、ミレニアル世代に好まれる新たなカテゴリーとして「ライフスタイルホテル」の開発が世界で急がれているが、これをカプセル・ホテル業態で具現化してみせたのが「ザ・ミレニアルズ」となる。

17年7月、京都・河原町三条にオープンした1号店は、宿泊者の7〜8割を占める同世代のインバウンドを中心に、半年強で1万人超が滞在する人気ぶり。渋谷でも同様のにぎわい形成を目指す。

（株）グローバルエージェンツは3月15日、ターゲットをミレニアル世代向けに特化した宿泊施設「The Millennials Shibuya」をオープンした。日本リテールファンド投資法人が所有する渋谷区神南1丁目の地上10階建てビルの3階以上をリノベーションした。

主に1980年以降生まれを指すミレニアル世代は、いまや世界人口の3分の1にまで達するものの、所有とシェアの合理的な使い分け、多様な価値観のなかで身軽さや自由（選択肢の多さ）を求めるといった、従来までの世代とは異なる消費嗜好をもつことから、いまま研究が進められている世代。同社代表である山崎剛氏がミレニアル世代であることを活かし、都内を中心に35棟・2000室を展開する交流型賃貸住宅「ソーシャルアパートメント」は、自室でプライベートを確保しつつ、キッチンやラウンジなどの共用部は生活レベルを向上でき

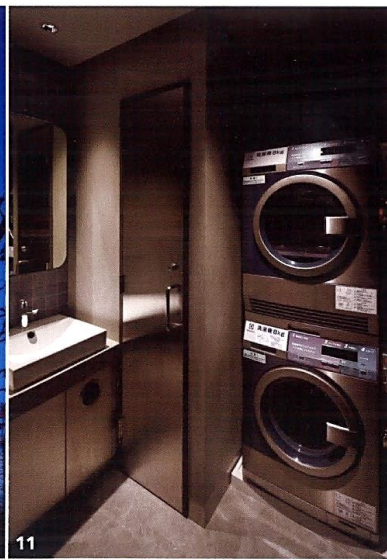
TREND EYES

The Millennials Shibuya

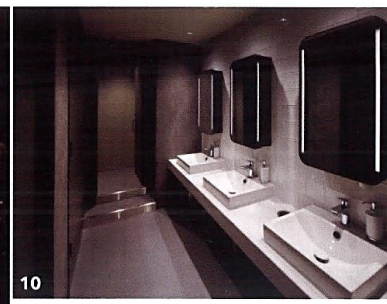
ミレニアル世代に特化した宿泊施設
新しい文化の発信源・渋谷に誕生



12



11



10

10.11. シャワールーム、ランドリーはスタイリッシュなデザインで統一した

12. ホテル外観。ザ・ミレニアルズ渋谷は3～10階



6

6.7. 3階にはフロントとセルフキッチンを配し、ゲスト同士のさまざまな交流を促す



施設概要

所在地	東京都渋谷区神南1-20-13 Gビル渋谷01 3～10階
オープン	2018年3月15日
所有	日本リテールファンド投資法人
運営	株式会社グローバルエージェンツ
敷地面積	274.93㎡
規模・構造	S造・地上10階建て
延床面積	1,361.28㎡（ザ・ミレニアルズ渋谷部分）
客室数	120室（うちプロジェクター付きポッド25室、アートポッド20室）
付帯施設	シャワールーム、コインランドリー、コワーキングスペース、ラウンジ、セルフキッチンなど
平均客室単価	約6,000円
総投資額	約5億円



13

13. フロントは4階に設けられた



8

8.9. andworkはホテルの潤沢な事業予算で設計した高い内装グレードも魅力

積の25%（約300㎡）を割いて充実を図っている。4階にはゲスト同士の交流を促すフロントおよびセルフキッチン付きのラウンジを設けた。

3階のコワーキングスペース「andwork」は、宿泊ゲストが24時間利用可能なスペースとなる。宿泊者以外の利用も可能なドロップインサービスも行っており、ワークスペースとラウンジが自由に利用できる。利用時間は6時30分～翌1時（最終受付21時）。ここではコーヒーに加え、夕方にはビールも無料提供され、さらに客室フロアのシャワーや客室の仮眠利用も有料のオプションで可能。従来のコワーキングスペースとは一線を画した魅力的なサービスが提供される。利用料金は1時間800円、1日3000円、シャワー1400円（税別）、客室1時間1000円、以降1時間ごとに500円（税別）。ワークショップやミートアップなどのイベント、宴会などの貸切り利用も可能となっている。

合理性・多様性・自由を追求することで、「暮らすように泊まり、遊ぶように働き、働きながら旅する」という、未来のライフスタイルを切り拓く世のためホテル「ザ・ミレニアルズ」。今後3年間で海外を含む10か所の展開を目指すという。

インテグレーションとプロジェクターも設置した。スマートフォンやパソコンを接続することで、大画面で映画などを楽しめる。リクライニングベッドはアラームと運動しており、音ではなく、時間になると照明とベッドリクライニングで起床を促す革新的な機能を備える。同機能や照明はチェックイン時に渡されるiPadで操作が可能で、快適な睡眠はもちろんのこと、近未来の宿泊を体験できる。

また、従来のカプセルホテルにはないライフスタイル性を打ち出すべく、20室のポッドを国内外で活躍する20人のアーティストとコラボレーションした「アートポッド」は、京都にはない、渋谷ならではの新たな取組みだ。アートで彩られたポッド壁面はリクライニングや照明によって楽しみ方が変わる個性豊かなデザインが揃い、日本をけん引する新しい文化の発信源である渋谷らしさを宿泊ユニット内に落とし込んだ。アートポッドを予約したゲストはチェックイン時に希望のアートポッドの空き状況をその場で確認でき、アーティストティックな滞在を楽しめる。

ソーシャルアパートメント同様、コアターゲットであるミレニアル世代の価値観やニーズに沿った共用部もザ・ミレニアルズの大きな特徴。ホテル面